

「MREAL」周辺機器・対応ソフトウェア・サービスで10社と提携。
 さまざまなユーザーニーズに即応できる幅広いソリューションを提供。

キヤノンMJ ITグループのキヤノンITソリューションズ株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:浅田 和則、以下キヤノンITS)は、MR(Mixed Reality)システム「MREAL」(エムリアル)対応の位置姿勢センサー等周辺機器、仮想データ表示ソフトウェア、サービス等の提供について、2013年6月下旬から下記パートナー10社に提携を拡大し、ソリューション提供体制をさらに強化します。

また、これらのソリューションを6月19日から21日まで東京ビッグサイトで開催される「第21回 3D&バーチャル リアリティ展」へ、一部提携社とともに出展します。

キヤノン株式会社製「ヘッドマウントディスプレイ HM-A1」(以下HMDと略す)・基本ソフトウェア「MRプラットフォーム MP-100H」をシステムの核として、多様な位置姿勢センサー等周辺機器・仮想データ表示ソフトウェア商品・サービスのラインナップを取り揃えることで、さまざまなユーザーニーズをきめ細かくカバーし、パートナー各社との提携を通じて幅広いMREALのソリューションを提供します。

■ 提携社および商品・サービス一覧(社名50音順)

| 社名 | 商品・サービス | 出展 |
|--|--|---------|
| 旭エレクトロニクス株式会社 http://www.aec.co.jp | 位置姿勢センサー: InterSense、ノビテック ソフトウェア: VirDSE、MREVIEW | 26-6※1 |
| RTT Japan株式会社 http://www.rtt.ag/ja/ | ソフトウェア: DeltaGen Mixed Reality | - |
| 極東貿易株式会社 http://www.kbk.co.jp | 位置姿勢センサー: POLHEMUS | - |
| 株式会社 クレセント http://www.crescentinc.co.jp | 位置姿勢センサー: Vicon ソフトウェア: 3DVIA StudioPro用 MRプラグイン | 27-2※1 |
| 株式会社 スパイス http://www.mocap.jp/optitrack/ | 位置姿勢センサー: OptiTrack | - |
| 株式会社 電通国際情報サービス http://www.isid.co.jp | サービス: R-3D for MR | 29-1※1 |
| 日本バイナリー株式会社 http://www.nihonbinary.co.jp | 位置姿勢センサー: ART 力覚提示デバイス: 触覚インターフェース・バーチャルアセンブリシステム HAPTION IFC | 26-30※1 |
| 株式会社 フィアラックス http://www.fiatlux.co.jp | ソフトウェア: EasyMR | - |
| 株式会社 富士テクニカルリサーチ http://www.ftr.co.jp | ソフトウェア: Galaxy-Eye MR | 23-6※2 |
| ラティス・テクノロジー株式会社 http://www.lattice.co.jp | ソフトウェア: XVL Studio CANON_MREALオプション | - |

■ 第21回 3D&バーチャル リアリティ展(IVR)に出展

6月19日から21日まで東京ビッグサイトで開催される、アジア最大級の3D技術・映像技術の展示会「第21回 3D&バーチャル リアリティ展(IVR)」に、本件提携各社の商品を活用したMREALのソリューションを、一部提携各社とともに出展します。

<http://www.canon-its.co.jp/seminar/20130619mr.html>

※1 3D&バーチャルリアリティ展(IVR)への出展小間番号

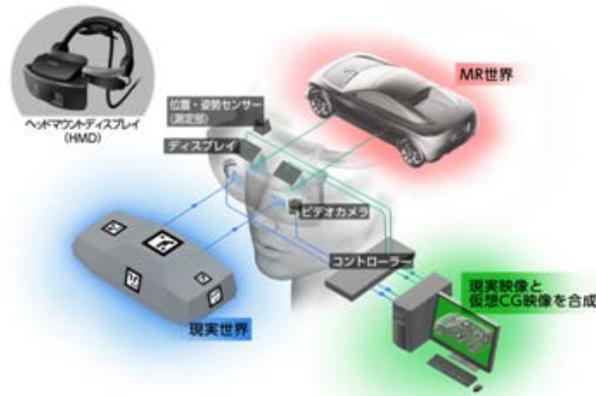
※2 設計・製造ソリューション展(DMS)への出展小間番号

<MR(Mixed Reality)システムについて>

MR(Mixed Reality: 複合現実感)とは、現実世界とCGをリアルタイムに違和感なく融合させる映像情報処理技術です。MRシステム「MREAL」により、CGがあたかも目の前で現実世界に存在しているかのような臨場感を提供します。

近年製造業においては、製品のライフサイクルの短縮化が進み、製品をタイムリーに市場に投入することが求められています。設計時にMRシステムを活用することにより、ユーザーの姿勢の変化や動きに瞬時に対応する実物大の3次元CGを用いて、製品のデザインや操作性の評価などが可能です。これにより試作回数を削減でき、開発期間の短縮に加えてコストや環境負荷の低減に貢献します。

「MREAL」の原理



- (1) HMDに内蔵された左右一対のビデオカメラによって現実世界を撮影し、その映像をコンピューターへ送ります。
- (2) 画像処理や位置検出センサー、あるいはその両方を組み合わせた位置合わせ技術により、コンピューター内のCGと現実世界の映像を高精度に融合し、HMDに搭載された小型表示ディスプレイに表示します。
- (3) 先進的な技術を結集した光学システムで小型表示ディスプレイの映像を拡大し、臨場感のある立体映像をユーザーの眼に届けます。

<「MREAL」の主な特長>

1. 実物大で高精細なCGを描画し、優れた臨場感を実現
ビデオを通しての映像にも関わらず、あたかもそこにあるかのように、現実空間にCGを重ね合わせるため、仮定のモックアップでも本物と同じ感覚で体験できます。
2. 高精度かつ高速な位置合わせで、現実と仮想の世界を正確に融合
HMDの位置と姿勢をリアルタイムで計測し、1コマごとにCGを描画することにより、ユーザーの姿勢の変化や動きに瞬時に対応した合成映像を提供。

<「MREAL」の製品名称とロゴについて>

「MREAL」の「MR」はMixed Reality (=複合現実感)、「E」はExtreme (最先端・究極)、「A」はArt (技術)、「L」はLeader (先導者)を意味しています。
また、右記の製品ロゴは「m」と「r」をモチーフにしています。滑らかな曲線は、現実世界と仮想世界を繋ぐことで得られる柔軟性や限りない可能性を表しています。
キヤノンは、MRの分野において、今後も業界の先導者として最先端のソリューションを提供していきます。

